

石井国土交通大臣  
来賓挨拶全文

皆様、おはようございます。国土交通大臣の石井でございます。本日は世界各国より、政府、議会、経済界、学界、またメディア等、各界を代表する皆様一堂に会され、このように盛大に「I H R A 国際フォーラム2016」が開催されますことを、心よりお慶びを申し上げたいと存じます。

本日のフォーラムのテーマは「高速鉄道が創り出す社会、そしてその未来」であります。我が国では、1964年に世界初の高速鉄道「新幹線」が東京・大阪間で開業いたしまして、今日に至るまで半世紀を超える歴史を刻んでまいりました。乗客の死亡事故ゼロ、平均遅延時間1分未満という卓越した安全性、信頼性により、新幹線は人々の暮らしを支え、我が国の社会経済活動を牽引する基幹的インフラとして大きな役割を果たしてまいりました。

昨晚、私も、新幹線を利用して東京からこの京都に参りましたが、速くて時間に正確な高速鉄道の存在は、日本人の生活に欠かせないものとなっています。

新幹線ネットワークは、我が国の大動脈としてブロック間・地域間の交流を促進し、我が国の産業の発展や観光立国の推進等に大きく寄与しています。また、駅の周辺や沿線の開発といった経済効果ももたらし、地域の発展にも大きく貢献しています。まさに新幹線は、半世紀にわたって日本の国土及び社会の形成に中心的役割を果たしてまいりました。

環境面でも鉄道に対する期待は大きいものがあります。今月には、地球温暖化対策の新たな枠組みであるパリ協定が発効いたしました。地球環境重視の国際的潮流の中で、環境性能に優れた鉄道の役割は今後ますます大きくなっていくものと考えております。

我が国では今、革新的な超電導リニア技術の活用により最高時速が 500km を超えるリニア中央新幹線の建設が、東京・名古屋間で進められています。将来的には大阪まで延伸されまして、東京・名古屋・大阪の三大都市圏を 1 時間で結ぶ人口 7 千万人の巨大な都市圏、スーパーメガリージョンが形成されます。リニア中央新幹線の開業は、国土構造の変革、国際競争力の向上をもたらすとともに、その三大都市圏の成長力を全国に波及させ、国の経済のさらなる発展を導くものと考えております。

本日のフォーラムでは、アジア・太平洋の経済成長と交通、高速鉄道による社会変革の追求、国家戦略と高速鉄道など、大変重要なテーマについて議論が交わされると伺っております。国家戦略の中で高速鉄道の整備をどのように描き、社会経済の変革にどのように活用していくのか、国や社会のあり方に深く関わっていく論点が数多くあると思います。

本日の議論を通じまして、高速鉄道が創り出す社会の将来像について、ともに考察を深め、ここ「いにしえの都」京都から、世界に発信していただけたら大変幸いです。

結びに、高速鉄道の未来に向けまして、有意義な議論が行われますことを心からご期待・ご祈念を申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。